



No.608A

N180

LA1463, 1464

モノリシックリニア集積回路
カラーテレビ水平, 垂直偏向回路用

◇ 半導体ニュース No.608A と同一です。

LA1463, 1464 は 偏向用 IC として 基本的に必要な同期分離, 水平発振, 垂直発振等の主な機能に加えて パーストゲート および ペステルクランプ用パルスや ブランキング用パルスの作成 さらにPAL用(LA1463), NTSC用(LA1464)のそれぞれの方式に対応した水平位相補正, 像曲り補正機能を内蔵した 多機能集積回路である。

- 機能
- ・ノイズ消去
 - ・同期分離
 - ・APC
 - ・水平位相補正
 - ・比較ノコギリ波の作成
 - ・水平発振
 - ・垂直ドライブ
 - ・垂直発振
 - ・パーストゲートパルスの作成
 - ・ブランキングパルスの作成
 - ・X線保護

- 特長
- ・映像プリアンプを内蔵しているため 同期分離が安定している。
 - ・パーストゲート および ペステルクランプ用のパルスは 水平同期信号のパックポーチを正確に抜きとるとともに フライバックパルスでゲートされている。
 - ・水平 および 垂直の発振回路は フォームアップドリフトが小さく 電源電圧や周囲温度の変動に対して 安定である。
 - ・DC 帰還による 垂直出力段のバイアス制御は 帰還期間内のサンプリング制御であるため リニアリティやインターレースが良好である。
 - ・水平のブランキングパルス幅は 外部定数によって設定できる。

最大定格/ $T_a=25^{\circ}\text{C}$

最大電源電圧

V_{12}, V_{24}

14

unit

V

許容消費電力

$P_{d\max}$

$T_a \leq 65^{\circ}\text{C}$

750

mW

動作周囲温度

T_{opg}

$-20 \sim +85$

$^{\circ}\text{C}$

保存周囲温度

T_{stg}

$-55 \sim +125$

$^{\circ}\text{C}$

動作特性/ $T_a=25^{\circ}\text{C}$

同期特性

プリアンプ利得

標準検波出力 = $1V_{p-p}$

min

typ

max

unit

15

dB

垂直特性

フリーラン周波数

f_v

標準 55 Hz

-5

+5

Hz

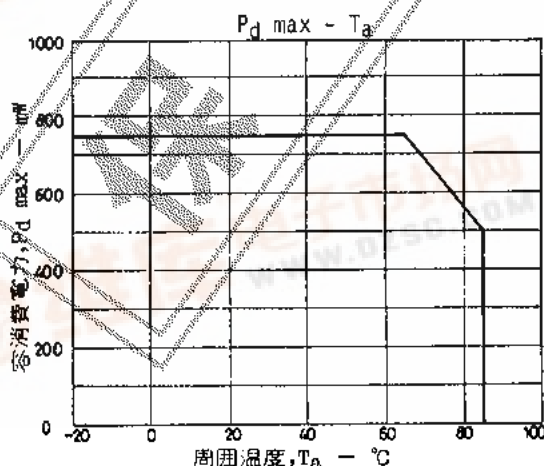
発振周波数の温度係数

$T_a = -10 \sim +60^{\circ}\text{C}$

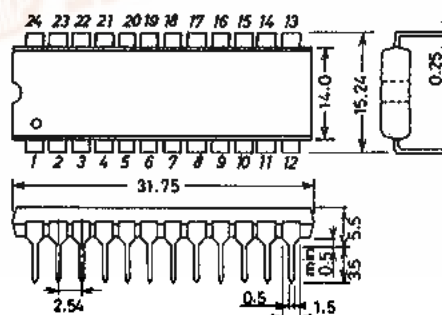
-0.015

+0.015 Hz/ $^{\circ}\text{C}$

次ページへ続く。



外形図 3011
(unit: mm)



LA1463,1464

次ページから続く

垂直特性

発振周波数の電源電圧依	$+V_{CC1} = 12 \pm 1V, f_v = 55Hz$	-0.7	+0.7	Hz
発振開始電圧			4	V
引き込み範囲	引き込み周波数=60Hz	-8.5	-6.5	Hz

水平特性

フリーラン周波数	f_H	標準=15.734kHz	-650	+650	Hz
発振周波数の温度係数		$T_a = -10 \sim +60^\circ C$	-2.5	+4.0	Hz/ $^\circ C$
発振周波数のウォームアップドリフト		5600~30min	-50	+80	Hz
発振周波数の電源電圧依存		$+V_{CC2} = 12 \pm 1V, f_H = 15.734kHz$	-30	+30	Hz
発振開始電圧				4	V
引き込み範囲		引き込み周波数=15.734kHz		± 380	Hz
発振パルスデューティ				50	%

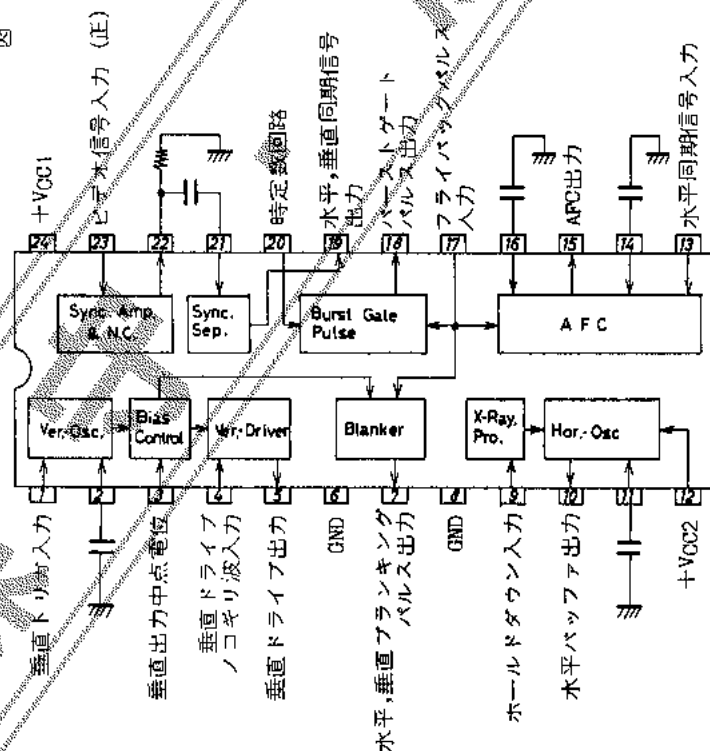
バーストゲート および ペデスタルクランプ用パルス特性

波高値	V_{BG}		6.3	7.3	V
パルス前縁遅れ時間		同期信号の後縁を基準		0.5	μs
パルス後縁遅れ時間		//	3.4	4.0	μs

ブランキングパルス特性

波高値				12	V
垂直パルス幅		ランプ回路の帰線期間に対して	1.3		倍
水平パルス幅		フライバックパルス幅に同じ			

等価回路ブロック図



■ 应用回路例

